

2 社 会

1 編集の具体的方針

- (1) 「地理的分野」は1～7，資料編1～4の11分冊，「歴史的分野」は1～6，資料編1・2の8分冊，「公民的分野」は1～6および資料編の7分冊とする。
- (2) 表題等の書き表し方は，原則として次のようにする。
 - ① 大見出しは，ページ替えした後，1行目に8マスあけて表題を書き，次行に10マスの線を引く。
 - ② 中見出しは，ページ替えした後，1行目に8マスまたは6マスあけて表題を書き，後ろ1行をあける。
 - ③ 小見出しは，ページ替えした後，1行目に6マスあけて書く。
 - ④ 小見出し冒頭の課題は，前後をそれぞれ1行あけて書く（マークは示さない）。
 - ⑤ 本文冒頭の項目は，前1行をあけた後，4マスあけて修飾記号をつけ表題を書く。
- (3) 本文の表記については，次のように留意する。
 - ① 「上（下）の～」は，「○○ページの～」などの表現に修正する。
 - ② 本文中に人物等のイラストが入った会話部分は，会話者の名前を挿入する。
 - ③ 本文又は資料中の「・○○○」等の箇条書きの記述は，原則として「ア ○○○，イ ○○○，ウ ○○○…」などと符号を付して表す。
 - ④ 点字使用生徒にとっては扱いが困難な視覚に頼る題材又は表現については，適宜内容を修正する。
 - ⑤ 本文中の活字の大きさやゴシック体で書かれた文字については考慮しないが，指導上十分に配慮して取り扱うことが望ましい。
 - ⑥ 人名，地名，国名は振り仮名どおりとし，振り仮名がない場合は，慣用読みとする。なお，読み方が2通りある場合は，上段の読み方を先に書き，下段の読み方を括弧で囲んで記す。2度目に出たときも，理解しにくい場合には，同様に2通りの読みを表記する。
- (4) 図，表，写真，絵，グラフ，地図，資料，スキルアップなどは，次のように取り扱う。
 - ① 挿絵については，単元の学習上重要なものは，触覚による観察が可能な範囲で点図等に修正する。
 - ② 写真は削除するが，内容構成上不可欠なものについては，必要な範囲で説明文を追加又は修正して「注」や「資料」として扱う。
 - ③ 図，表，地図などの削除，修正は，点図の技術的限界や触覚の特性を踏まえて行う。なお，削除した場合も，できるだけ内容を生かすように配慮する。
 - ④ 円グラフや棒グラフのうち，点字使用生徒が理解しやすいものについては，そのままとするが，数表の方が適切なものは数表化する。なお，年代的推移などを表す折れ線グラフは，最大限原典の意図を生かすように配慮する。
 - ⑤ 図，表，地図，グラフ，年表などで用いられている記号は，ア，イ，ウ ……や略記号などを適宜用いる。
 - ⑥ 地図は，その地図の意図する位置関係に主眼を置くこととし，縮尺表示については原則として省略した。
 - ⑦ 図，表，写真，絵，グラフ，地図，資料，スキルアップなどの最初の行は「----- 図 -----」で始め，次の行にタイトル等を表し，最後の行は「-----」で終わる。
- (5) 「注」については，次のように取り扱う。
 - ① 写真の説明などを「注」としたものは，本文中に番号で示されている「注」とともに，本文中の関連のある箇所にも番号を付す。なお，番号は項目の範囲内で通し番号とする。
 - ② 「注」は項目ごとに本文の後へ挿入し，「文中注記符」で示す。
 - ③ 必要に応じて，表題をつけた。
- (6) 資料は，次のように取り扱う。
 - ① 本文中の資料の取り扱いについて：統計などの資料は，タイトルの次に年度と出典を括弧で囲んで書き，その後へ説明文，資料の順に記す。資料文の終わりを示す装飾線の後を1行あける。
 - ② 資料編に関する取り扱いについて：資料編に掲載する資料については，本文末（「注」があ

る場合はその後)へ次のように示す。星印 表題 資料編〇〇 第〇〇図(〇〇ページ) 参照

「地理的分野」についてはおもな地図や表、グラフを、「歴史的分野」についてはおもな歴史地図、グラビアページ及び年表を、「公民的分野」については巻末の「参考資料」及び「用語解説」を掲載した。

- (7) 「深めよう」「発展」「学びの広場」などはページ替えをし、題を「レ」下がり線で挟む。
- (8) 「地理的分野」及び「歴史的分野」の地図のうち、より立体的把握を要するものについては真空形成器で作成する。
- (9) 「歴史的分野」の各章の冒頭にある年表は、表記上の問題があるので削除するが、資料編の年表を有効に活用するよう配慮する必要がある。
- (10) 「歴史的分野」の折り込みの年表は、わかりやすく簡略化して資料編に入れた。
- (11) 「歴史的分野」の「地域の歴史」1～10, 並びにこれと重なる「歴史スキルアップ」および「深めよう」は、わかりやすくするため第6巻にまとめた。

2 編集の具体的内容

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-----|---------|--|--|---|
| 地理 | 4 | 絵 | 修正 | 4人の生徒を紹介する絵は文章化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 8 | 写真 | 削除 | 写真および付属するたかひろとはるか吹き出しは削除した。 | 写真については必要に応じて説明するように配慮する。 |
| | 9 | 地図 | 修正 | 「六大陸と三大洋」の地図については、空欄の部分に記号をかえて表記した。 | 学習しやすくするため。 |
| | | 写真 | 修正 | 「海洋が多く見える半球」と「陸地が多く見える半球」の写真は簡略化し、それぞれ点図にした。 | 触覚によって理解できるようにするため。 指導に際しては、盲人用地球儀などによる観察もあわせて行うことが望ましい。 |
| | 10 | 図 | 修正 | 「緯度と経度」の図は削除し、「緯線と経線」の図をそれぞれ分けて点図化した。 | 立体的なものは理解しにくい。 |
| | 11 | 地図 | 削除 | 地図は削除し、文章を一部修正した。 | 地図は複雑で分かりにくい。 |
| | | 写真 | 修正 | 模式図は赤道の表示を加えて、点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 12 | 写真 | 削除 | 写真は削除し、説明を入れた。 | 写真については必要に応じて説明するように配慮する。 |
| | 13 | 地図 | 削除 | 「時差と標準時」の地図は削除した。 | 複雑で分かりにくい。 スキルアップの課題については資料1-8の地図を参考にする。 |
| | 14 | 図 | 削除 | 図およびまいとたかひろの吹き出しは削除した。 | 立体的であり、複雑で分かりにくい。 |
| | 15 | 地図 | 修正 | 「緯線と経線が直角に交わった地図」は、国境線を削除。赤道と明石を通る135度の経線を表示し、日本を中心にして点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「中心からの距離と方位が正しい地図」は、国境線、緯線、経線、日本から1000kmの距離を削除して点図化した。 | 理解しやすくするため。 盲人用地球儀による観察をあわせて行うことが望ましい。 |
| | | 地図 | 削除 | 「面積の正しい地図」については文章で表記した。 | 「緯線と経線が直角に交わった地図」との違いを触覚では把握しにくい。 |
| | | スキル・アップ | 削除 | 図は削除し、説明のみとした。 | 立体的で分かりにくい。 |
| | 17 | 欄外 | 修正 | ためしてみようの「右の新聞記事のなかに出てくる下の漢字の地名は…」の部分は、「次の地名は…」にかえた。 | 視覚を使う学習の言葉になっているため。 |
| 18 | 地図 | 修正 | 点図化し、いくつかの国名のみ表記した。 (以下、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの地図も同様、オセアニアについては一部地域名を表記した。) | 理解しやすくするため。 他の国名については、巻末資料で確認させるなど配慮する。 | |
| 20 | 地図 | 修正 | 「ヨーロッパの地図」とともに、「日本の地図」を表記した。 | 日本との大きさを比較させるため。 | |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-----|---------|------|--|---|
| 地理 | 25 | 地図 | 削除 | 「東京からの距離と方位が正しくあらわされている地図」「ニューヨークからの距離と方位が正しくあらわされている地図」については削除した。 | 15 ページの「中心からの距離と方位が正しい地図」と同じであるため削除した。またニューヨークを中心にしたものは複雑であるため削除した。 |
| | 28 | スキル・アップ | 修正 | 文章を修正した。 | 視覚による作業となるため、内容を変更した。 |
| | 29 | 地図 | 修正 | 略地図のみ点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 30 | 図 | 削除 | 国旗については、ガーナ、サモア、ロシア連邦、パキスタンのみ点図化し、他は、タイトルのみとした。 | 複雑になるため、課題に必要なもののみとした。 |
| | 31 | 図 | 削除 | 「コンピュータでえがいた地図」については、削除した。 | 「大陸移動説による大陸の分裂」の図により確認できるため。 |
| | 32 | 地図 | 修正 | 空欄部分を、記号にかえて表記した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 33 | 欄外 | 削除 | えんぴつマークの作業についての文章は削除した。 | 視覚的な作業であるため。 |
| | 34 | 欄外 | 修正 | ためしてみようの「上の□□に書きこみましょう。」を「地図帳で探しましょう。」に修正した。 | 教科書に書きこむことは困難なため。 |
| | | 絵 | 修正 | 「領土、領海、領空の区分」の絵については、断面図にかえて点図化した。 | 立体的で分かりにくいいため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「日本の領域と経済水域」の地図については、択捉島、南鳥島、沖ノ鳥島、与那国島の位置を示して、点図化した。 | 島の位置を確認できるようにするため。 |
| | 35 | 地図 | 修正 | 「日本の領土返還の歴史」を地図から切り離し、一部文章を修正した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 36 | 地図 | 修正 | 地図の九州地方については九州島と南西諸島の地図を付け加えた。空欄については記号にかえて点図化した。 | 九州島と南西諸島との位置関係を把握するため。教科書に書きこむことは困難なため。 |
| | 38 | 欄外 | 修正 | ためしてみようの文章を一部修正した。 | 視覚的な作業についての言葉であるため。 |
| | 39 | 欄外 | 修正 | えんぴつマークの作業について、「下の表に書きこみましょう」を削除し、「さがしましょう。」に変更した。 | 視覚的な作業についての言葉であるため。 |
| | | 欄外 | 修正 | えんぴつマークの作業について、「都道府県の面積を比べましょう。」については、文章を変更した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 削除 | 地図については削除した。 | 巻末の統計資料で確認できるため。 |
| | 41 | 欄外 | 修正 | ためしてみようの文章を一部修正した。 | 視覚的な作業についての言葉であるため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「県名の由来」については、地図から切り離し文章で表記した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 42 | 図 | 削除 | 「都道府県の形と旗に使われているマーク」は削除。 | 複雑で分かりにくいいため。 |
| | 43 | スキル・アップ | 修正 | 文章を修正した。 | 視覚的な作業についての言葉であるため。 |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-------|-----------|---|---|---|
| 地理 | 43 | 地図 | 修正 | 「日本の略地図」は直線のもの、曲線のものに分けて点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 46~47 | 表 | 修正 | 表については、文章で表した。空欄部分は削除し、「どこにしますか。」とたずねる言葉を入れた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 48 | 欄外 | 修正 | 「身近な地域を調べるポイント」の③④⑤については削除し、②については文章を修正した。 | 視覚的な作業であるため。 |
| | 49 | 写真 | 削除 | 写真は削除。タイトルを残し、一部説明を入れた。 | 理解しやすくするため。 |
| | | スキル・アップ | 修正 | 文章を一部修正した。 | 視覚的な作業についての言葉であるため。 |
| | 50 | 地図 | 修正 | 地形図は2000年の地形図のみ、簡略化して点図にした。 | 複雑で分かりにくいため、必要なもののみとした。 |
| | | 欄外 | 修正 | ためしてみようの文章を一部修正した。 | 視覚的な作業についての言葉であるため。 |
| | 51 | 地図 | 修正 | 地形図は削除し、図書館と博物館の地図記号を点図化した。 | 地形図は点図にしても分かりにくいため。 |
| | 52 | 写真 | 削除 | 写真・吹き出しとも削除した。 | 写真については必要に応じて説明するよう配慮する。 |
| | 54 | 4~7 | 追加 | 女子生徒、男子生徒にそれぞれ「ともみ」「さとる」と名前を付けた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 55 | 表 | 修正 | 「調査計画書の例」については、文章で表記した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 56 | 地図 | 修正 | 「市街地化の年代」については、1957年までと現在までに分け、簡略化して点図にした。 | 理解しやすくするため。 |
| | 58 | 図 | 削除 | 「寺町散歩マップ」「和菓子店の包装紙に印刷された城下町のころの金沢のようす」は削除。 | 点図化しても複雑で分かりにくいため。 |
| | 60 | 図 | 修正 | 「地区別人口の変化」は、2つに分けて点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 61 | 図 | 修正 | 「総人口に占める65歳以上の人の割合」は、2つに分けて点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 62 | 絵 | 削除 | 「OHPを使った発表の例」「ビデオカメラを使った発表の例」およびイラストマップは削除。 | 絵については、必要に応じて指導者が説明するよう配慮する。 |
| | | スキル・アップ | 修正 | 文章を一部修正した。 | イラストマップの例を説明する部分であるため。 |
| | 66 | 地図 | 修正 | 「鳥かん図」は一般の地図として点図化し、「岩手県をながめてみよう」と標題をつけ、地形と地名のみを記載した。 | 情報量が多くなりすぎため。 その他の情報は、授業内で説明を加えることが望ましい。 |
| | | 図 | 削除 | 断面図は削除した。 | 読みとりが困難なため。 モデルなどで触擦による指導が望ましい。 |
| | 67 | 地図 グラフ | 修正 | 「東北地方の基本データ」「おもな農産物・水産物の生産量」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| 写真 | | 削除 | 写真はすべて削除。写真の題名だけは残した。説明のついていない写真については説明も記載した。 | 写真についてはすべて同様の扱いとした。 | |
| 68 | 地図 | 修正 | 地図は点図化し、鉄道・高速道路と雨温図・写真の地名を記載した。 | 理解しやすくするため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-----|---------|-----------------------|---|---------------------------------------|
| 地理 | 68 | グラフ | 修正 削除 | 「岩手県の土地利用と耕地面積の割合」の棒グラフは数表化し、地図は削除した。 | 地図は点図にすると複雑になり、教科書の内容と地図で場所の把握が可能のため。 |
| | 69 | グラフ | 修正 | 「岩手県のおもな農産物の産出額の割合」は数表化した。「全国の養殖漁業の変化」は数表化、「岩手県の水産業の変化」は点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「岩手県の肉用牛・乳用牛の数」は地図を点図化し、数値は数表化した。 | 対象の市町村の場所と数値を読みとりやすくするため。 |
| | | スキル・アップ | 修正 | 文章を修正した。 | 学習活動をしやすくするため。 |
| | 70 | 地図 | 修正 | 「岩手県の交通網と人口密度」は点図化し、100人/km ² 以上の市町村と100人/km ² 未満の市町村の2段階で示すものに修正した。地図の欄外に、「人口密度200人/km ² 以上の3市」を記載した。 | 複雑で読みとりにくいため。 |
| | | 地図 | 修正 削除 | 「岩手県の工業団地の分布」は点図化し、工業団地名は削除した。 | 複雑で読みとりにくくなるため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「東北地方のおもな伝統工芸品」は表にして示すように修正した。 | 読みとりやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「岩手県の工業生産額の変化」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 72 | 地図 | 修正 | 「岩手のおもな観光」は点図化し2つに分けて示すように修正した。 | 情報が多く複雑になるため。 |
| | 73 | 絵 | 削除 | 「中学生がえがいた未来の岩手県」の絵とイラストは削除した。 | 読み取りにくいいため。 |
| | | 欄外 | 修正 | 「多面的に調べるポイント⑤の⑥」の「未来構想のイメージ図を作成する」を「未来構想をイメージする」に修正した。 | 活動をしやすくするため。 |
| | 76 | 地図 | 修正 | 「福岡県の鳥かん図」は一般の地図として点図化し、「福岡県をながめてみよう」と標題をつけ、地形と地名、写真の示す場所を示すように修正した。 | 触覚によって、的確に理解をするため。 |
| | | 図 | 削除 | 「断面図」は削除した。 | 読みとりが困難なため。 |
| | 77 | 地図 | 修正 | 「日本のおもな都市」は表にして示すように修正した。 | 読みとりをしやすくするため。 |
| | | 図 | 修正 | 「福岡県の人口移動」「福岡国際空港からの国際線便数」は数表化した。 | 点図化すると複雑でわかりにくくなるため。 |
| | 78 | 地図 | 修正 | 「福岡県の地図」は削除した。 | 76ページの地図にまとめて記載したため。 |
| | 79 | スキル・アップ | 修正 | 「九州各県の産業別県内総生産額の割合」は数表化し、他の資料と同様に本文の後に記載した。 | 読みとりをしやすくするため。 |
| | 80 | グラフ | 修正 | 「石炭と鉄鋼の生産量と石炭輸入量の変化」は点図化した。 | 読みとりをしやすくするため。 |
| | 81 | グラフ | 修正 | 「おもな工業地帯・地域の生産額の割合とその変化」は数表化した。 | 読みとりをしやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「九州地方の工業地域図」は点図化した。 | 触覚によつて的確に理解できるようにした。 |
| 82 | 地図 | 修正 | 「ふくおか21世紀計画」は表にして示した。 | 点図化しても複雑で読みとりにくいため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|---------|---------|------------------------------|---|------------------------|
| 地理 | 83 | グラフ | 修正 | 「博多港，福岡国際空港からの外国人入国者数」は点図化した。 | 触覚による読みとりがしやすいため。 |
| | 87 | 地図 | 修正 | 「東京都の鳥かん図」は点図化し，「東京都をながめてみよう」と表題をつけ，都心の場所，地形と地名を記載した。 | 触覚によりの確に理解できるようにした。 |
| | | 図 | 削除 | 「都心部拡大図」削除した。 | p 88の地図で内容を示すため。 |
| | | 図 | 削除 | 「断面図」は削除した。 | 読みとりが困難なため。 |
| | 88 | 地図 | 削除 | 「東京都の地図」は削除した。 | 鳥かん図と内容が重複するため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「東京都中心部」は点図化し，p 87の都心部拡大図の内容を加えた。 | 触覚によって，的確に理解できるようにした。 |
| | 89 | 図 | 修正 | 「東京 23 区の昼夜間人口」は点図化および数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「文化施設の数」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 90 | 図 | 修正 | 「東京近郊からの通勤・通学者」「おもな国内航空路線の旅客輸送量」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 91 | グラフ | 修正 | 「東京都中央卸売市場に入荷する農産物」「東京都の工業生産額の割合」「印刷・同関連業の都道府県別生産額の割合」はそれぞれ数表化した。 | 点図にすると，複雑で読みとりにくくなるため。 |
| | 92 | 図 | 削除 | 「外国大使館の分布」は削除した。 | 複雑でわかりにくいため。 |
| | 93 | スキル・アップ | 修正 | 「右の主題図を……」を「○○ページの主題図を……」に修正した。 | 編集にあわせるため。 |
| | | | | グラフの「都道府県人口にしめる在日外国人の割合」は数表化し，上位，下位それぞれ5位までを示すようにした。 | 情報量が多すぎるため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「東京都の在日外国人」「在日外国人の多い都道府県」はそれぞれ数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 97 | 図 | 削除 | 「イラストマップ・九州の中心地福岡県」は削除した。 | 複雑でわかりにくいため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「東京都の国際交流都市」は点図化した。 | 触覚によりの確に理解できるようにした。 |
| | | グラフ | 修正 | 「東京都と三県の人口増加率の比較」は点図化した。 | |
| | 98 | 地図 | 削除 | 「利根川を水源としている地域」「関西文化学術研究都市」は削除。 | 複雑で理解しにくいため。 |
| | 100 | 地図 | 修正 | 鳥かん図を点図化して，地形と地名を示した。 | 触覚での確に理解できるようにするため。 |
| | 101 | 地図 | 修正 | アメリカの地図を点図化し，p 101の写真の場所を示した。 | 触覚での確に理解できるようにするため。 |
| 102 | グラフ | 修正 | 「牛肉と小麦の国別生産割合と輸出量の割合」は数表化した。 | 点図化した場合，グラフが複雑になり読みとりが難しいため。 | |
| | スキル・アップ | 修正 | 「アメリカの人口分布」は点図化した。」 | 触覚によりの確に理解できるようにするため。 | |
| 103 | 地図 | 修正 | 「北アメリカの農業地域」は点図化した。 | 触覚によりの確に理解できるようにするため。 | |
| 104 | グラフ | 修正 | 「工業製品の国別貿易額の割合」は数表化した。 | 数値により，的確に理解するため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|-----|---------|------------------------------------|--|-----------------------|
| 地理 | 105 | 地図 | 修正 | 「北アメリカの鉱工業地域」は2つに分けて点図化した。 | 情報量が多く、点図化では複雑になるため。 |
| | | 図 | 修正 | 「世界貿易を展開するアメリカ」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 107 | 地図 | 修正 | 「移民系の人々の州別割合」は2つに分けて点図化した。 | 触覚での確に理解するため |
| | | グラフ | 修正 | 「アメリカの人口構成」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 110 | 地図 | 修正 | 「中国の鳥かん図」は一般の地図として点図化し、「中国をながめてみよう」と表題をつけ、地形、地名を示すように修正した。 | 触覚によりの確に理解するため。 |
| | 111 | 地図 | 修正 | 「中国の人口密度」「中国の民族分布」は点図化した。 | 触覚によりの確に理解するため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「中国の人口と自然増加率」は棒グラフを折れ線グラフに修正した。 | 触覚によって読みとりやすくするため。 |
| | 112 | 地図 | 修正 | 「中国の地図」を点図化し、雨温図が示している都市を示すように修正した。 | 雨温図の位置を把握しやすくするため。 |
| | 113 | グラフ | 修正 | 「おもな農畜産物の国別生産割合と国別の家畜飼育頭数の割合」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「中国の気温と降水量」は1600 mm以上をまとめて示した。また、等温線は削除した。 | 複雑でわかりにくくなるため。 |
| | 114 | グラフ | 修正 | 「中国の産業別人口の割合」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「工業地域・地下資源」と「経済特区・沿岸開放都市」の2つに分けて点図化した。 | 1つにまとめた場合、情報が多くなるため。 |
| | 115 | 地図 | 修正 | 「中国の地域別GDP」は、1万元以上の地域とその他の2つの地域に分けて点図化した。 | 触覚によりの確に理解できるようにするため。 |
| | 117 | 表 | 修正 | 「海外の中国系移民」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「中国のおもな貿易相手国・地域」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 120 | 地図 | 修正 | 「フランスの鳥かん図」は点図化し、「フランスをながめてみよう」と表題をつけ、地形・地名を示した。 | 情報量が多く、複雑なため。 |
| | | 地図 | 削除 | 断面図は削除した。 | 複雑でわかりにくくなるため。 |
| | 121 | 図 | 修正 | 「おもな国の小麦生産量」「おもな国のチーズ生産量」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | スキル・アップ | 修正 | 図の「おもな国の自動車生産台数」と「おもな国の観光客数」は数表化し、他の資料と同様に本文の後に記載した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 122 | 地図 | 削除 | 「フランスの地図」を削除。 | 鳥かん図と重複しているため。 |
| | | 地図 | | 「パリの中心部」を削除。 | 複雑でわかりにくいため。 |
| | 123 | 図 | 修正 | 「フランス語と英語の使われる国と地域」は日本中心の地図にして点図化した。 | 日本中心の地図のほうが理解が容易なため。 |
| | 124 | 図 | 修正 削除 | 「ヨーロッパの工業地域」は点図化し、パイプラインは削除。 | 理解しやすくするため。 |
| 125 | 図 | 修正 | 「ヨーロッパに流入する外国人労働者」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 | |
| | グラフ | 修正 | 「フランスの貿易品のうちわけ」「フランスの貿易相手国」は数表化した。 | 理解しやすくするため。 | |
| | 絵 | 修正 | 「国境をこえた航空機生産」は表にした。 | 理解しやすくするため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|-----|----------|------------------------------------|---|--------------------------------|
| 地理 | 126 | 図 | 修正 削除 | 「フランスと周辺国のおもな交通網」は点図化し、国際列車の路線は削除した。 | 図が複雑になるため。 |
| | 127 | 図 | 修正 | 「ヨーロッパの民族分布」は点図化。 | 触覚によりの確に理解するため。 |
| | | | | 「EU各国の一人あたりの国民総所得の格差」は数表化。 | 点図にすると、図が複雑になるため。 |
| | 132 | 図 | 削除 | 「アメリカのイラストマップ」は削除。 | 図が複雑なため。 |
| | 133 | 図 | 削除 | 「中国のイラストマップ」は削除。 | 教科書本編に同様の地図があるため。 |
| | | 地図 | 削除 | 「ヨーロッパの民族分布」図は削除。 | 教科書と同じ地図であるため。 |
| | 134 | グラフ | 修正 | 「品目別工業生産額のうちわけ」「品目別農業生産額のうちわけ」「中国の貿易品目の構成」「アメリカの貿易品目の構成」はそれぞれ数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図表 | 修正 | 「東京23区の在日外国人数」「フランスにくらす外国人」はそれぞれ数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 135 | 表 | 修正 | 見開きにし、教科書と同様の表にした。 | 触覚によつて的確に理解するため。 |
| | 136 | 図 | 修正 | 「世界のおもな国家間の結びつき」の地図は、2種類に分けて一覧表にした。 | 理解しやすくするため。 |
| | 138 | 地図 | 修正 | 「おもな地震の震源と火山の分布」は、「おもな地震の震源」と「おもな火山の分布」の2種類の地図に分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 139 | 写真 | 修正 | 「安定した陸地」の写真は削除し、説明文のみを残した。 | 同様な内容の箇所については、同じ扱いとした。 |
| | 140 | 地図 | 修正 | 「おもな山脈・火山と海溝の分布」は、「おもな山地・山脈」と「おもな火山」「火山帯と海溝」の3種類の地図に分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 142 | 地図 | 修正 | 「日本のおもな川と平地」は、川と平地の2種類の地図に分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 143 | 写真 | 削除 | 写真、地図は、すべて削除した。 | 地形の特徴については、立体模型図等を用いて指導したい。 |
| | 145 | 地図図 | 修正 | 「世界の気候」は、気候帯を3つに分けて点図化した。それぞれの点図の後に点図化した雨温図をつけた。 | 1枚の地図では、複雑で分かりにくいため。 |
| | 147 | 地図 | 削除 | 「温帯の分布」地図は削除し、雨温図のみを点図化して資料編にのせた。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 148 | 図 | 修正 | 「日本の気候区分」の雨温図は、数表化した。 | 触角よる把握が難しいため。 |
| | 150 | 地図 | 削除 | 災害地を示した日本地図を削除し、説明文のみを残した。 | 指導に際しては、災害場所を地図帳等で確認することが望ましい。 |
| | 152 | 地図写真 | 削除 | 「世界の気候区」の地図と写真は削除し、説明文のみを残した。 | P 145 の地図と重複しているため。 |
| 158 | 写真 | 削除 修正 | 「1955年～65年の日本」の写真はすべて削除し、説明文を加えた。 | 理解しやすくするため。 | |
| 163 | 地図 | 修正 | 「沖縄の土地利用」は、市街地と軍用地を2枚の地図に分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 | |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-------------|-----|-----|-------------|---|--|
| 地理 | 164 | 地図 | 削除 | 「全国の小京都と小江戸」の地図は削除し、それぞれを一覧にまとめた。 | 複雑で分かりにくいため。指導に際して地図帳等で場所を確認することが望ましい。 P 165 の「アイヌ語が由来となったとされる地名」についても同様の扱いとした。 |
| | 169 | グラフ | 修正 | 「地域別人口の移り変わり」の折れ線グラフは、世界人口のみを点図で表し、地域別人口は数表化した。 | 複雑で分かりにくいため。同ページの「おもな国の出生率と死亡率」のグラフについても数表化した。 |
| | 171 | 図 | 削除 | 「アメリカの年代別男女人口の割合」を表すグラフ用紙は削除し、アメリカの年代別男女人口の割合のみ残した。 | 教科書に書き込む作業的学習は困難であるため。 |
| | 173 | 地図 | 修正 | 「東京圏・大阪圏への人口の移動」は地図を削除し、移動人口を数表化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 175 | 地図 | 削除 | 「大阪市の区別人口密度」は削除した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 176 | グラフ | 修正 | 「日本の過疎地域の割合」のグラフは、数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 図 | 修正 | 「過密地域と橿原町の人口ピラミッドの比較」の図は、過密地域と橿原町の2つに分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 180 | グラフ | 修正 | 帯グラフは、すべて数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 181 | 地図 | 修正 | 「世界のエネルギー消費量」の地図は、消費量を2段階に分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 184 | 地図 | 修正 | 「おもな国の産業別人口の割合」の地図は削除し、各国の産業別人口を点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | | 図 | 削除 | 「日本の産業別人口」の図は、削除した。 | 教科書に書き込む作業的学習は困難であるため。 |
| | 185 | 地図 | 修正 | 「おもな穀物の生産地分布」は、小麦・大麦と米を分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 194 | 地図 | 修正 | 「世界の供給栄養量」は、3000kcal 以上の国と2000kcal 未満の国のみを点図で表した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 197 | 地図 | 修正 | 「国・地域別のインターネットの普及率」は、普及率を3段階に分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 200 | 地図 | 修正 | 「国・地域別の観光客の受け入れ数」は、2000 万人以上と 1000 万～ 2000 万人未満の国のみを点図で表した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 202 | 地図 | 削除 修正 | 日本の高速交通網の変化、「1975 年当時」の地図は削除し、「2004 年現在」の地図は、新幹線と高速道の2つに分けて点図化した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| | 207 | 図 | 削除 | 「インターネットショッピングのしくみ」の図は削除した。 | 複雑で分かりにくいため。 |
| 210~ 213 | 地図 | 削除 | 地図はすべて削除した。 | すでに教科書の中に出てきた地図であるため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 | |
|----|-----|------------|--------------|---|--|---|
| 歴史 | 内表紙 | 中央 本文 | 修正 追加 | 「オランダ人画家ゴッホの絵と日本の浮世絵を紹介 します。表紙の中には、13の絵があります。」 「タンギー爺さん」という絵は、19世紀のオランダ 人画家ゴッホ（以下省略）のように追加修正した。 | 理解しやすくするため。 | |
| | | 罫 | 修正 | 男子生徒に名前をつけ、たかひろ「タンギー爺さん のうしろの壁にえがかれた浮世絵がどれか選んで数字 を書きこんでみたよ。」とした。 | 理解しやすくするため。 | |
| | 内表紙 | 地図 | 削除 | 「日本の世界遺産」の地図を削除して表で表した。 | 理解しやすくするため。 | |
| | | 目次 | | 修正 | 「わたしたち歴史探検隊（中にある歴史スキル・ア ップ）」「深めよう」は、発展学習として捉え、本編の 最後にまとめ、第6巻とした。 | 本編の流れを捉えやす くするため。 |
| | | 見開き | イラスト 吹き出し | 削除 | ページ内のイラスト、吹き出しはすべて削除した。 | 理解しやすくするため。 内容との関連で必要な もの残すが、以下、同様 の扱いとする。 |
| | 6 | 本文 年表 | 削除 | 年表例は削除し、次のように修正した。 「時代や年代の表し方」 1 原始・古代，中世，近世，近代，現代という分け 方があります。 2 日本史では，縄文，弥生，古墳，奈良，平安，鎌 倉，室町，安土・桃山，江戸，明治，大正，昭和， 平成という分け方があります。 | 具体的な年表指導は， 資料編の年表や各章毎の まとめの年表で学習する ことが望ましい。 | |
| | 9 | 図表 | 削除 修正 | 「海をわたった人たちの歴史」は，項目を示し，日 本に来た外国人，外国にわたった日本人ごとに分け， それぞれ「ア（名前）イ（活躍した時代）ウ（生没年） エ（説明）」の順で文章化した。絵と表中央の時代の 流れは削除した。 | 理解しやすくするため。 以下，同様の扱いとする。 | |
| | 10 | スキル アップ | | | 「インターネットを利用しよう」については，原本 通りに表記した。 | パソコンでHPを検索 ・閲覧する場合の操作方 法については，必要に応 じて補足説明する。 |
| | 13 | 時代 区分 | 削除 | 各章初めの年表は，年代毎に色分けで表記されてい るが，教科書本文の説明で理解できるため，色分けに よる年表は全て削除した。 | 学習しやすいようにす るため。各章とも同様の 扱いとする。 | |
| | | 写真 | 削除 | 各章のとびらの絵や写真は，原則として削除し，表 題のみ記した。 | 絵や写真については， 指導者が補足説明するよ うに配慮する。 | |
| | 14 | 図 | 修正 | 「新人の誕生と広がり」は，「新人の移動経路と年 代」のみ表した。 | 触察により理解を容易 にするため。 | |
| | | 絵 | 修正 追加 | 「人類の進化と誕生」は，年代，人類，脳容積ごと に数表化した。 | 理解しやすくするため。 | |
| | | 図 | 修正 | 「2万年前の日本列島」は，陸続きであったことを 理解しやすくするために強調して表した。 | 本文の主旨を生かすと ともに，触察により理解 しやすいよう配慮した。 | |
| | | 写真 | 修正 | 「岩宿遺跡（群馬県）から発見された打製石器」の 大きさをイメージしやすいように，輪郭線のみ点図化 した。 | 触察によりイメージし やすくするため。 | |
| | 16 | 地図 | 修正 | 「文明のあけぼの」の地図を点図化した。 | 触察により理解を促す ため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-------|---------|--|---|--|
| 歴史 | 17 | 絵 | 修正 | 甲骨文字の例のうち、「日」「牛」を点図化した。 | 触察によりイメージしやすくするため。 |
| | 18~19 | 絵 | 削除 | 「縄文時代のむらの生活」「弥生時代のむらの生活」の絵を削除した。 | 絵のなかに各時代の特徴的なことがらが表されているので指導者は、補足説明を加えるよう配慮する。 |
| | | 写真 | 削除 | 土器や金属器などの写真を削除した。高さ、長さなどの情報は残した。 | 土器・金属器など形状や文様など理解させるためにレプリカまたは実際に博物館等で確かめることが望ましい。 |
| | 20 | 地図 | 修正 | 「三内丸山遺跡」の位置を示す地図を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 24 | 地図 | 修正 | 「2世紀ごろのアジア」を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 25 | 写真 | 修正 | 「大仙古墳」を上から見た形に修正し、単純化して点図で表した。 | 前方後円墳の形を触察により理解を促すため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「前方後円墳の分布」を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 26 | 地図 | 修正 | 「5世紀の東アジア」を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 27 | 図 | 修正 | 「須恵器とのぼりがま」を「のぼりがま」として、断面図でその仕組みが分かるように点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 28 | 4 | 修正 | 本文：「右のような疑問からでした。」を男子生徒の吹き出しを引用し、次のように修正した。 「どうしてこんなに多くの古墳があるんだろう。」という疑問からでした。 | 文章により理解を促すため。 |
| | | 吹き出し | 追加修正 | 吹き出しのそれぞれに名前をつけ、次のように修正した。 あきら「はにわは何をかたどった形なのかな。」 まな「はにわから（以下省略）」 あきら「まが玉を（以下省略）」 みどり「当時の人は、まが玉をつくるのにどうやってけずっていたのかな。」 | 文章により理解を促すため。 |
| | 29 | スキル・アップ | 修正 | 写真からつながる吹き出しの内容を本文に加え、一部修正した。 「古墳の大きさや方角を実際に調べたり、スケッチしたりしました。また、（以下省略）」 | 写真の主旨を生かすため。 |
| | | | 削除追加 | 物知りメモ、現地調査、1、必要な持ち物のうちスケッチブック、色えんぴつを削除し、筆記用具、ICレコーダーを追加した。 | 盲生徒の学習に必要なものとして例を示した。 |
| | 30 | 図 | 修正 | 「あきらさんたちの作成した地図」は道を削除し、点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| 欄外 | | 修正削除 | まさやさんたちの班の発表原稿を修正し、【鉄剣の文字】「鉄剣には、文字が書かれています。このなかに（以下、省略）」とした。 | 文章により理解を促すため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-------|------------------|----------------------|---|-------------------------------------|
| 歴史 | 31 | 歴史 スキル アップ | 追加 | 吹き出しに、ゆきお「点字の資料も見出しを工夫したり、囲み記号などつかって工夫したりすると分かりやすいよね。」を追加した。 | 盲生徒の学習に必要な観点として例示した。 |
| | 33 | 地図 | 修正 | 「7世紀半ばの東アジア」を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | | 系図 | 修正 | 「皇室の系図」を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 34～35 | 写真 | 削除 修正 | 貨幣の大きさをイメージしやすくするため、外形のみを実物大で点図化した。 | 実際は、レプリカなどで確かめさせることが望ましい。 |
| | 35 | 図表 | 修正 | 「律令による役所のしくみ」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | | 写真 | 削除 修正 | 「平城京」の都のイメージを捉えやすくするため、点図化した。寺院については、文章で説明した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 37 | 表 | 追加 修正 | 表に「人々にかけられたいろいろな税」と表題をつけ、表で表した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 38 | 吹き出し 写真 | 修正 削除 | まいの台詞を修正するとともに、写真を削除し、次のように表記した。 「日本には、インドや西アジアなどの文化の影響を受けて、よく似た絵や像があります。 1 アジャンタ石窟の壁画と法隆寺金堂の壁画 2 新羅の弥勒菩薩像と広隆寺の弥勒菩薩 3 トルファン <small>トルファン</small> の樹下美人図と日本でつくられた鳥毛立女屏風 4 竜門 <small>龍門</small> の石仏と法隆寺の釈迦如来像」 | 写真の主旨を生かすため。共通点は、指導者が補足説明するように配慮する。 |
| | | 地図 | 修正 | 「東西の交通（8世紀ころ）」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 40 | 絵 会話 | 削除 修正 追加 | 「貴族の屋敷」の説明文を一部付け加え、次のように修正した。 「藤原頼道が、天皇をもてなしている様子が描かれています。平安時代の貴族の屋敷は、寝殿造といい、広大な敷地の半分ほどを庭がしめています。前庭に造られた池には、へさきに竜をかたどった船が浮かべられ、雅楽が演奏されています。平安貴族たちは、しばしば優雅な遊びで、一日を過ごしていました。」 | 会話文の主旨を生かし、理解しやすくするため。 |
| | 41 | スキル アップ | 修正 | 「藤原氏の系図」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | | 歴史に アクセス | 修正 | 「東北地方への進出」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 43 | 写真 | 修正 | 「文字のくふう」の解説を次のように修正した。 「11世紀頃、中国周辺の民族は、独特の文字を作りました。契丹文字、西夏文字と呼ばれています。日本でも漢字をくずしたかな文字が生まれました。」 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「11世紀の東アジア」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| 44 | グラフ | 修正 | 「世界の宗教の信者の割合」を数表化した。 | 理解しやすくするため。 | |
| | 地図 | 修正 | 「仏教の伝来ルート」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-------|----------|----------------------------------|--|--|
| 歴史 | 48 | 年表 | 修正 | 左右見開きページとした。左に、政治・経済・社会、東アジアに関する項目、右に日本の文化に関する項目を示した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 51 | 系図 | 修正 | 「皇室・源氏・平氏の系図」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 52 | 写真 | 修正 | 「現在の鎌倉」を簡略にし、点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 53 | 系図 | 修正 | 「源氏将軍家と北条氏の系図」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 54～56 | 写真 | 削除 | 「武士の館」「僧の話聞きに集まった人たち」の説明は、原文のままとした。 | 絵の内容が、その後のスキルアップでの課題につながるため、指導者が補足説明するように配慮する。 |
| | 55 | 歴史にアクセス | 修正 | 7行目の「右の資料は、」以下を次のように修正した。 「そして、地頭にひどい行いをうったえるために、農民たちは、カナ書きの訴状をつくったのです。」 | 理解しやすくするため。 |
| | 57 | 歴史スキル | 修正 | 17行目の「この絵を見て・・・」を「この絵には一遍が2カ所にえがかれていて、時間のうつりかわりをあらわしています。」に修正した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 59 | 歴史にアクセス | 修正 | 「モンゴル帝国の拡大」を点図化した。各遠征ルート、行路は省略した。神聖ローマ帝国、ビザンツ帝国、イスラム王朝の位置は、文章化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 64 | 地図 | 修正 | 「室町時代の海上交通と倭寇」を点図化した。倭寇の進路については、省略した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | 65 | 地図 | 修正 | 「琉球の勢力」を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| | | 写真 | 修正 | 「志苔館跡と発掘された銭」は、「志苔館跡」「発掘された銭」に分け、それぞれに説明文を付けた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 66 | 系図 | 修正 | 「足利氏の系図」を点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 67 | 絵 | 修正 | 「職人たち」の説明文を一部修正した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 69 | 写真 | 修正 | 「借金帳消し宣言」の説明文を一部修正した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「おもな戦国大名」を点図化した。守護大名から戦国大名になったもの、家来から主君の地位にかわったものは、文章で表した。領地については、おもな大名を示した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 72 | 地図 | 修正 | 「大阪府堺市」の位置を点図化した。 | 触察によって理解を促すため。 |
| 78 | 年表 | 修正 | 見開きページとし、左に政治、右に文化、経済・社会の項目を示した。 | 理解しやすくするため。 | |
| 80 | 地図 | 修正 | 植民地をあらわす塗り分けを省略し、文章化した。 | 触察しやすくするため。指導者の補足説明が望まれる。 | |
| 84 | 絵 | 修正 削除 | 絵に描かれている合戦のようすを、簡潔に文章化した。 | 絵を見て考える課題であるため、指導者は補足説明を行うことが望ましい。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|-----|----|---|--|--------------------------------|
| 歴史 | 85 | 地図 | 修正 | 「織田軍の進路」と「信長にほろぼされた大名」を省略した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 89 | 絵 | 削除 | 西洋の絵,「泰西王侯騎馬図屏風」を削除した。 | タイトルや文章で絵の雰囲気伝えるのは困難なため。 |
| | 91 | 図 | 修正 | 「徳川氏の系図」を点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | | 地図 | 修正 | 「おもな大名の配置」は「幕領／親藩・譜代／外様」の区別を「幕領・親藩・譜代／外様」の区別に簡略化し,おもな都市・城下町をおもな大名とともに表化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 92 | 図 | 修正 | 「身分別の人口の割合」の図を数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 94 | 地図 | 修正 | スペイン領・ポルトガル領・オランダ領をそれぞれ省略し,語句による説明で補足した。 | 触察しやすくするため。指導者が補足説明を行うことが望まれる。 |
| | 95 | 年表 | 修正 | 「鎖国への歩み」は来航期間の項目を省略した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 96 | 地図 | 修正 | 「鎖国下の窓口」の黒竜江を省略した上で,点図化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 99 | 地図 | 修正 | 「近世の交通と特産物」を「近世の交通(五街道)」・「近世の交通(おもな海運)」・「近世の特産物」の3つに分けて点図化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 107 | 図 | 修正 | 「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」を「百姓一揆の発生件数」と「打ちこわしの発生件数」に分け,点図化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 113 | 地図 | 修正 | 「北方探検」の「ニコライエフスク・アレクサンドロフスク」を省略し,点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 115 | 地図 | 修正 | おもな藩校・私塾と,国別寺子屋数をそれぞれ数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 122 | 地図 | 修正 | 日本列島のみ点図化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 128 | 図 | 修正 | 「イギリスの三角貿易」と「イギリスとインドの綿布の輸出」は点図化した。 | 触察により理解を促すため。 |
| | 129 | 地図 | 修正 | 都市名を省略し,点図化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 130 | 地図 | 修正 | 日本の位置については欄外に↑で示し,点図化した。 | 触察しやすくするため。 |
| | 131 | 図 | 修正 | 「幕末の貿易」を数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 139 | 図 | 修正 | 「新政府のしくみ」の正院の構成員を欄外に示し,点図化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 図 | 修正 | 「華族・士族・平民の割合」を数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 149 | 地図 | 修正 | 「岩倉使節団の行路」を表化した。 | 複雑で,図化は困難であるため。 |
| 151 | 地図 | 修正 | 「士族の反乱と激化事件」を点図化した。 | 触察しやすくするため。 | |
| 153 | 図 | 修正 | 「大日本帝国憲法による国のしくみ」の各機関の説明を欄外に示し,点図化した。 | 触察しやすくするため。 | |
| 154 | 地図 | 修正 | イギリス・フランス・ドイツ・アメリカ・オランダとその植民地を点図化し,地名は,日本・清・タイ・エチオピア・リベリア・ケープ植民地のみ表した。その他の列強と植民地は,説明をつけた。 | 簡略化し,触覚でわかりやすくするため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|---------|--------|---|---|----------------------|
| 歴史 | 155 | 絵 | 削除修正 | 「舞踏会のようなす」は「鹿鳴館での」をつけ加え、「絵は、当時の錦絵とフランス人のビゴーが描いた風刺画があります。舞踏会では、慣れない洋服を着て・・・こっけいに見えることもありました。」と説明を修正した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 絵 | 削除修正 | ビゴーの絵は削除し、説明の最後に「鹿鳴館の舞踏会についてビゴーが描いた絵では、男女の鏡にうつった顔が猿の顔をしています。」とつけ加えた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 156 | 絵 | 削除 | 「下関講和会議」は、絵とゆうたとふきだしを削除した。絵の説明は原本通りとした。 | 視覚によらなければ困難な課題であるため |
| | 157 | グラフ | 修正 | 「賠償金の使い道」は数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 159 | 図 | 削除修正 | 「日露戦争をめぐる列強の関係」の図は削除し、図の内容を列挙した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 160 | 写真 | 削除修正 | 説明は、まいの言葉を削除し、「朝鮮総督府は 1910 年に設けられ、日本の朝鮮支配の中心となりました。写真は 1935 年に撮影されたもので、王宮の真前に朝鮮総督府の白い建物が建っています。現在は、総督府を取りこわしたあとに王宮の門を復元しています。」と修正した。「日本語で授業を受ける朝鮮の子どもたち」は、説明の部分も削除した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 163 | 写真とグラフ | 削除修正 | 「製糸工場働く工女とその一日」は写真とグラフ、説明の「長野県」を削除し、工女の一日を一覧表にした。 | 理解しやすくするため。 |
| | 164～165 | 絵と写真 | 削除修正 | どのようなものがあるかわかるように列挙したが、高村光雲「老猿」については「老いたさるの木彫、高さ 90.9 cm 東京国立博物館蔵」のように説明をつけた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 168 | 年表 | 修正 | 年表全体を日本と世界の 2 つに項目に整理し、戦争のマークは削除した。 | 簡略化し、触って理解しやすくするため。 |
| | 169 | 絵等 | 削除 | 絵、世紀、写真、地図、たかひろとまい、ふきだしは共に削除した。 | 視覚によらなければ理解が困難なため。 |
| | 170 | 写真 | 削除 | はるかとかかひろは、ふきだしも削除し、説明に「沢山の火砲の弾が並んでいる中で、3人の女性が働いています。このように」をつけ加えた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 172 | 地図 | 削除 | 絵「ベルサイユ条約の調印」、ゆうたとまい、ふたりのふきだしも削除した。 | 視覚によらなければ困難な課題であるため。 |
| | | 地図 | 削除修正 | 地図を削除し、「ベルサイユ条約などによって独立を承認された国」は一覧表にした。 | 理解しやすくするため。 |
| | 174 | 写真 | 削除 | 写真、たかひろとまいとふたりのふきだしも削除した。 | 視覚によらなければ困難な課題であるため。 |
| 176 | 写真 | 削除修正 | 説明文の後に続けて、「写真は、東京府東京市本郷区、現在の東京都文京区の投票所入口の様子。」とつけ加えた。はるかとかかひろは削除した。 | 視覚によらなければ困難な課題であるため。 | |
| | 絵 | 修正 | 「ポスターの 1 枚には『文芸家にも議席を与へよ 社会民衆党公認候補 菊池寛氏を選べ』と書かれ、もう 1 枚には、『普選 皆さん投票所へ 投票スレバ明クナリ 昭和維新与論政治ガ実現スル 棄権スレバ暗クナル 内務省』と書かれています。」と修正した。 | 理解しやすくするため。 | |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|------|---------|----------|------|--|---|
| 歴史 | 177 | グラフ | 削除修正 | 「工業生産額と農業生産額の変化」は、数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 181 | 写真 | 削除修正 | 「宝塚少女歌劇団の舞台のようす」の説明を「大都市の・・・つくられました。宝塚少女歌劇団もそのひとつです。」と修正した。 | 理解しやすくするため。 |
| | | 絵 | 削除修正 | 映画のポスターの説明に、「嵐長三郎改め嵐寛寿郎 第1作品 鞍馬天狗などと書かれています。」と追加修正した。 | より理解を深めるため。 |
| | 182 | 写真 | 削除修正 | 「写真 ブレッドライン」の説明を次のように修正した。「アメリカでは、・・・写真は、パンの支給を待つ失業者の列で、ブレッドラインとよばれました。」 | 理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | ソ連、日本、アメリカとイギリス、フランス、ドイツの二つに分けて点図化した。 | 触って理解しやすくした。 |
| | 184 | 写真 | 削除 | 写真、ゆうたとふきだしも削除した。 | 視覚によらなければ困難な課題であるため。 |
| | 186 | 写真 | 削除修正 | 説明に「写真中央に写っているめがねをかけた人物が、満州国元首のプイ（ふぎ）」とつけ加えた。 | 学習しやすくするため。 |
| | 187 | 写真 | 削除修正 | 「日本の自動車工場」の写真は削除し、「ベルトコンベアーによって自動車がつぎつぎに生産されています。（1935年）」とつけ加えた。 | 理解しやすくするため。 |
| | 192 | 地図 | 修正 | 全体に簡略化した。日本軍、アメリカ軍の進路に関しては欄外に年表化して示した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 196～199 | 私たち歴史探検隊 | 修正 | 第6巻へまとめた。 | 学習しやすくするため。 |
| | 200～201 | 深めよう | 修正 | 第6巻へまとめた。 | 学習しやすくするため。 |
| | 205 | グラフ | 削除修正 | 「自作地と小作地の割合」「自作・小作別農家の割合」は数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 206 | 地図 | 削除 | たかひろとふきだしも削除。「東西の対立」の説明の後に、「北大西洋条約機構（NATO）加盟国」と「ワルシャワ条約機構加盟国」を一覧表にした。 | 理解しやすくするため。 |
| | 212～213 | 表写真 | 修正 | 年表・写真の順に表し、写真の説明は、本文の順に合わせて修正した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 裏表紙見返し | 地図 | 削除修正 | 「各地のおもな史跡」は地図を削除し、一覧表にした。 | 理解しやすくするため。 |
| | 裏表紙見返し | 地図 | 削除修正 | 「国と都道府県の対照図」は、点図は畿内と七道のみ図として、国と都道府県の対照は、一覧表にした。国名は古代から出てくるので資料編第1巻に入れた。 | 学習しやすくするため。 |
| | 公民 | 4 | 絵 | 修正 | 各課題のマークと人物の絵を削除し、マークを「課題」、「エピソード」、「調査・作業」に修正した。 |
| 7 | | 写真 | 削除修正 | 写真を削除し、キャラクター名を文章で表現した。 | 資料の趣旨を生かすため。 |
| 8～11 | | 年表 | 修正 | 「現代社会の歩み」を食、家電、交通・運輸・レジャー、科学、パソコン・通信、おもなできごと、ゲームとアニメーションの項目ごとにまとめた。 | 学習しやすくするため。 |
| 13 | | グラフ | 修正 | 「おもな耐久消費財の普及率」のグラフの8種類の要素を4種類ごとの要素に分け2種類のグラフとした。 | 触覚によって理解しやすくするため。 |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-------|----------|---|---|--------------------------------|
| 公民 | 14 | グラフ | 修正 | 「食料支出に占める外食の割合」のグラフを数表と点図によるグラフに分けた。 | 学習しやすくするため。 |
| | 15 | 写真 | 修正 | 「デパートの食堂のメニュー」の写真部分は削除し、メニュー部分のみを文章化した。 | 資料の趣旨を最大限生かすため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「栄養や食事について考えていますか」と「おもな国の穀物自給率」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 19 | グラフ | 修正 | 「パーム油の生産量の多い国」と「マレーシアの輸出品目の変化」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 20 | 図 | 修正 | 「世界各国の経済格差」の図を数表で表した。数値は1000億ドルを単位とし、端数は四捨五入した。 | 原図の点図化は困難であり、学習しやすくするため。 |
| | 22 | 写真 | 修正 | 写真の説明を「多文化社会が進展する浜松市では、『浜松サンバフェスティバル』が行われています。」と修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「在日外国人の国別割合」と「外国人登録者数の推移」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 24～25 | 図 | 修正 | 多文化マップの図を簡略化した。 | 触覚によって理解しやすくするため。 |
| | 28～29 | 絵 | 修正 | 読み切りマンガの絵は削除し、会話文のみ文章化した。 | 題材の趣旨を最大限生かすため。 |
| | | 絵 | 修正 | 「未来の家庭シミュレーション」を「1 結婚した」「2 子どもが生まれた」などと番号をつけて項目を列挙した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 30 | 写真 | 削除 | 「24時間保育所」「保育所に子どもをむかえにきた父親」の写真は削除した。 | ゆうたとまいの会話及び本文に同趣旨の説明があるため。 |
| | 33 | 絵 | 修正 | 「マナー川柳をつくってみよう」の絵は削除し、絵の中の川柳を「応募作品例1, 2」として本文中に挿入した。 | 資料の趣旨を最大限生かすため。 |
| | 35 | 絵 | 削除 | 「2頭のロバ」の題材を削除した。 | 視覚によらなければ困難な課題であるため。 |
| | 36～37 | 写真 年表 | 削除 修正 | 「人権思想と憲法の歴史」の年表は写真を削除し、年表を点図化した。 | 触察によって、的確に理解できるようにするため。 |
| | 38 | 図 | 修正 | 「日本国憲法の三つの基本原理」の図は、文章化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 39 | 絵 | 削除 | 「あたらしい憲法のはなし」の絵は削除し、説明文のみを示した。 | 絵については、指導者が必要に応じて説明を加えるよう配慮する。 |
| | 40 | グラフ | 修正 | 「世界の軍事支出」は、数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 42 | 図 | 修正 | 「基本的人権」の図を文章化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 43 | 写真 | 削除 | 点字ブロックの写真と課題を削除した。 | 視覚によってのみ学習する内容であるため。 |
| 45 | 写真 | 修正 | 2枚の写真を削除し、「旧正月には、在日韓国・朝鮮人の子どもたちと日本の子どもたちが民族独自の遊びを楽しむようすが見られます。また、朝鮮半島の統一を願い、毎年ワンコリアフェスティバル」が開催されています(いずれも大阪府)」と説明文を入れた。 | 写真資料の趣旨を最大限生かすため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|----------|-----|--|--|-------------------------|
| 公民 | 48 | 写真 | 削除 修正 | 「三重県のポスターと徳島県の発行している冊子」の写真是削除し、写真中の文章のみを生かして説明とした。 | ポスター及び冊子の趣旨を最大限生かすため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「女性と労働」のグラフを数表化した。 | 理解しやすくするため。 |
| | 49 | 写真 | 削除 | 「車いすで乗降できる路面電車」と「公共施設などにはられているステッカー」の写真是削除した。 | 視覚によってのみ学習する内容であるため。 |
| | 54 | 写真 | 削除 | 3枚の写真及び生徒の会話は削除した。 | 視覚的な理解が必要な内容である。 |
| | 55 | 絵 | 修正 | 調査・作業の課題にある3つの絵を削除し、次の文章に修正した。「①朝早くから街頭演説 ②無資格診療 ③違法建築」 | 絵による課題内容理解しやすくするため。 |
| | 59 | 絵 | 削除 | 「ドナーカード」の絵を削除し、説明文のみ残した。 | 説明文で絵の趣旨の理解は可能である。 |
| | 60 | グラフ | 修正 | 「おもな国のボランティア活動参加率」を数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 61 | グラフ | 修正 | 「ボランティア活動をしてよかったこと」を数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 64 | グラフ | 修正 | 文中の二つのグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 68 | グラフ | 修正 | 「国民が政治に期待すること」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 70 | 図 | 修正 | 「小選挙区制と比例代表制」の図を削除し、次の説明に修正した。「小選挙区制は、各選挙区で最も多く得票した候補者が当選します。比例代表制は、各政党の得票数に応じて当選者数を配分します。」 | 視覚による理解は困難なため、学習しやすくした。 |
| | 74 | 写真 | 修正 | 写真を削除し、説明文を次のように修正した。 「有権者が街頭演説を聴いています。 党首討論（クエスチョン・タイム）で討論が行われています。 政党の党首討論会が行われています。」 | 写真による資料の趣旨を最大限生かすため。 |
| | 75 | グラフ | 修正 | 「与党と野党 衆議院の政党別議席数」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 79 | 図 | 修正 | 「法律ができるまで」の図を手続きの順に見開きページで説明した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 81 | 図 | 修正 | 「えんぴつマーク」のイラストを修正し、「①水質管理・自然 ②病院、看護師、入院 ③学校教育」とした。 | 学習しやすくするため。 |
| | 88 | 写真 | 修正 | 新聞記事の写真を削除し、主な見出しのみを説明文に加えた。 | 資料の趣旨を生かすため。 |
| | 93 | グラフ | 修正 | 「地方財政」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 98 | グラフ | 修正 | 「川崎市民の市政に期待すること」と「日本の果たすべき役割」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 99 | グラフ | 修正 | 「地方議会における女性議員割合の推移」のグラフの要素を2種類に分け、2枚に分割した。 | 触察で理解しやすくするため。 |
| | 100 | グラフ | 修正 | 「日本の裁判で改善すべき点」と「民事裁判及び刑事裁判の件数と解決までに要した時間」のグラフを数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| 105 | 写真 説明 | 修正 | 写真説明を次のように修正した。 「88円の中国産のシイタケと138円の国産のシイタケが並んで売られています。」 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 | |

| 学年 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|---------|--------|-------------------------|---|--------------------------------|
| 公民 | 106~107 | 図 | 削除 | イラストの地図を削除し、資料の説明文によって考える学習課題に修正した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 108 | 学習課題 | 修正 | はるかの吹き出し文を次のように修正した。 「わたしは、値段、ブランド名、色やデザイン、素材などで選ぶな。他にどんなことが考えられるか書き出してみよう。」 | 学習しやすくするため。 |
| | | 写真説明 | 追加 | 写真説明を次のように修正した。 「アパレルショップにたくさんの商品が並んでいて、客が選んでいます。」 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | 109 | スキルアップ | 修正 | 課題文を「…次の統計を参考にして、優先する順番に項目をあげましょう。」と修正した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 110 | 絵図 | 修正 | 「いろいろな悪質商法と相談件数」の絵図を修正し、相談件数の数値を数表化した。 | 絵の内容を指導の過程で具体的に説明することが望ましい。 |
| | 112 | 図 | 修正 | 「野菜が消費者に届くまで」の図を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | | 写真 | 削除 | 「青果市場の様子」の写真と説明文を削除した。 | ゆうたの吹き出し文に同趣旨の説明があるため。 |
| | | 写真説明 | 修正 | 「インターネットショッピング」の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | 113 | 図 | 修正 | 「流通の合理化」の図を点図化した。 | 触覚によつて的確に理解できるようにするため。 |
| | 114 | 絵図 | 修正 | 「身のまわりのいろいろな会社」の絵図は業種名で表した。 | 原図の点図化は困難であり、学習しやすくするため。 |
| | 114~115 | 図 | 修正 | 「株式会社のしくみ」の図を2つの点図に分けた。 | 触覚によって理解しやすくするため。 |
| | 116 | 絵 | 修正 | 「市場経済と金融」の7つの質問カードの絵を削除し、カードの文を箇条書き文に修正した。 | カードの文章のみでも理解できるため。 |
| | 117 | グラフ | 修正 | 「えんぴつマーク」の「メロンの入荷量と価格の動き」のグラフを「メロンの入荷量」のみ点図化し、価格の動きは数表の形のまま残した。 | 触覚によって理解しやすくするため。 |
| | | 学習課題 | 削除 | 「上のグラフに、下に示した価格の動きを、折れ線で書き加えましょう。」という課題文を削除し、価格を数表化した。 | 点図に折れ線グラフを書き込むことが困難であるため。 |
| | | 学習課題 | 修正 | 「えんぴつマーク」の「上の2枚の写真とグラフを見て…」という課題文を「次のグラフと数表と文章を参考して」に修正した。 | 学習しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「需要・供給・均衡価格の関係」のグラフを点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 118 | 図 | 削除 | 市場と価格の図を削除し、会話文を修正し、「たかひろ 価格は信号機のようなはたらきをしているんだね。」とした。 | 本文の説明で理解できるため。 |
| | 119 | グラフ | 修正 | 「日本での生産の集中」のグラフを数表化した。 | 数値のみでも理解できるため。 |
| | | 絵 | 修正 | 吹き出しの女子名を「ようこ」とした。 | 名前をつけることで、会話文であることを分かりやすくするため。 |
| 120 | 絵 | 修正 | 吹き出しの男性名を「先生」とした。 | | |
| 121 | 絵 | 修正 | 吹き出しの女子名を「かずこ」とした。 | 学習しやすくするため。 | |
| | 図 | 修正 | 「国民経済と銀行のはたらき」の図を点図化した。 | | |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-----|-----------|----------|---|--|----------------------------------|
| 公民 | 122 | 写真説明 | 修正 | 「ハローワークで仕事を探す人々」の写真の説明文を次のように修正した。 「ハローワークの求人情報検索コーナーで多くの人々が仕事を探しています。」 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | 124 | 図 | 修正 | 図は削除し、はるかの吹き出し文を次のように修正した。 「わたしたちの身の回りには、道路、学校、公園などの他にどんな社会資本があるかな。」 | 点図で表現するのは困難であるため。 |
| | 125 | 図 | 修正 | 「国民経済と税金」の図を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「おもな租税」の図を直接税と間接税の2つに分け、文章化するとともに、表に表した。 | 図が複雑であり、理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「各国の直接税と間接税の比率」の帯グラフを数表化した。 | 数値のみでも理解できるため。 |
| | 126 | グラフ | 修正 | 「歳入と歳出」の帯グラフを、歳入と歳出の2つに分け、数表化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | | 図 | 修正 | 「景気変動」の図を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 127 | グラフ | 修正 | 「財政」の棒グラフを数表化した。 | 数値のみでも理解できるため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「国債残高の移り変わり」の棒グラフを点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 129 | 図 | 修正 | 「介護保険制度のしくみ」を簡略化して点図化した。 | 触覚で観察して理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「年齢別人口割合の推移」のグラフを2つの点図に分けた。 | 触覚で観察して理解しやすくするため。 |
| | 130 | 写真説明 | 修正 | 2枚の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | 131 | 図 | 修正 | 「循環型社会のしくみ」の図を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 132 | グラフ | 修正 | 「全国の市街地平均の地価の推移」のグラフを点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | | 図 | 修正 | 「デフレ・スパイラル」を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 133 | 調査作業 | 修正 | 「えんぴつマーク」の課題文を次のように修正した。 「グループで経済や暮らしに関する一週間分の新聞記事をインターネットなどを使って集めてみましょう。(以下原文のまま)」 | 点字使用者が課題に取り組めるようにするため。 |
| | 134 | 写真 | 削除 | 「預金通帳」の写真とタイトルを削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 135 | 年表 | 削除 | 「戦後の日本の景気循環」の年表を削除した。 | 説明文で理解できるため。景気の名称については授業で簡単に触れる。 |
| | | 図 | 修正 | 「日本銀行の金融政策」を修正し、点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 137 | 写真 | 削除 | 「コンテナターミナル」と「WTO加盟の調印をする中国代表」の2枚の写真とタイトルの両方とも削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 139 | 写真説明 | 修正 | 3枚の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| 142 | 地図 グラフ | 削除 修正 | 「世界のエネルギー事情」の世界地図とグラフは削除し、各項目に分けて数表化した。 | 点図で表現するには困難であるため。 | |
| 143 | 写真説明 | 修正 | 「環境を守る取り組み」についての5枚の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 | |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|-------------|-----|----------|---------------------------------|---|---------------------------|
| 公民 | 143 | グラフ | 修正 | 「おもな国のエネルギー別発電量」のグラフを点図化し、内訳は数表化した。 | 点図では内訳の変化を理解するのが困難であるため。 |
| | 144 | 絵図 | 修正 | 「地球環境問題」の絵図を削除し、語句のみを簡条書き文に修正した。 | 点図で表現するには困難であるため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「地球の平均気温上昇の予測の範囲」のグラフを点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 145 | 図 | 修正 削除 | 「ゆうこさんの作品」及び「しんやさんの作品」の絵図のうち「世界のCO ₂ 排出量」を数表化し、「減少した氷の厚さ」を文章化した。 | 点図で表現するには困難であるため。 |
| | 146 | 写真 説明 | 修正 | 3枚の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | | 図 | 修正 | 「オゾン層破壊のしくみ」の図を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 147 | 写真 | 削除 | 「国連環境開発会議についての新聞記事」の2枚の写真とタイトルの両方とも削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 148 | 写真 | 削除 | 「ピーターラビット」の写真とタイトルを削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 149 | 写真 | 削除 | 「日本の環境運動」の5枚の写真とタイトルを削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 150 | 地図 | 修正 | 「ハンガーマップ」の栄養不足人口の割合を簡略化して3段階に区別して点図化した。 | 触覚で理解しやすくするため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「地域別の将来人口」のグラフを数表化した。 | 数値のみでも理解できるため。 |
| | 151 | 写真 | 削除 | 「エチオピアききん」の写真とタイトルを削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 152 | 写真 説明 | 修正 | 「子ども兵士の根絶をうたえるポスター」の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | 154 | 図 | 修正 | 「国家の領域」を断面図にして点図化した。 | 立体図では触察による理解が困難なため。 |
| | 155 | 地図 | 修正 | 「日本の領海と経済水域」を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| | 156 | 地図 | 修正 | 「世界のおもな地域統合」の地図の要素を2つに減らして点図化した。NAFTAとASEANの各加盟国については脚注で説明した。 | 加盟地域が重複していて触覚による観察が困難なため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「世界の貿易額に対するEUの割合」の円グラフの数値を示した。 | 数値のみでも理解できるため。 |
| | 157 | 地図 | 削除 | 「日本とFTAを進めている国・地域」の世界地図を削除した。 | 本文に同趣旨の説明があるため。 |
| | | 写真 | 削除 | 「APEC首脳会議」の写真とタイトルを両方とも削除した。 | 本文の理解に支障がないため。 |
| | 158 | 図 | 修正 | 「国際連合のおもなしくみ」を点図化した。 | 学習しやすくするため。 |
| グラフ | | 修正 | 「国連加盟国数の増加」の棒グラフを点図化し、内訳は数表化した。 | 点図では内訳の変化を理解することが困難であるため。 | |
| 160～ 161 | 絵 | 削除 | 紙芝居の絵をすべて削除した。 | 本文のみでも理解できるため。 | |
| 162 | グラフ | 修正 | 「難民の数」のグラフを数表化した。 | 数値のみでも理解できるため。 | |

| 分野 | ページ | 行 | 修正事項 | 修正内容 | 備考 |
|----|-----|------|--|---|------------------------------|
| 公民 | 163 | 地図 | 修正 | 「第二次世界大戦後のおもな地域紛争」の地図を削除し、年表化した。 | 位置については必要に応じて説明するように配慮する。 |
| | 164 | 写真説明 | 修正 | 「広島の平和記念式典」の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | | 写真説明 | 修正 | 「地雷の犠牲者」の写真の説明文を修正した。 | 写真資料の趣旨を理解しやすくするため。 |
| | 165 | グラフ | 修正 | 「おもな先進工業国の政府開発援助額の比較」のグラフを数表化した。 | 数値のみでも理解できるため。 |
| | | グラフ | 修正 | 「政府開発援助のうち贈与の比率」のグラフを点図化した。先進国平均の80.6%を示す線は削除して簡略化した。 | 触覚によって理解しやすくするため。 |
| | 167 | 地図 | 修正 | イスラエルとパレスチナの支配地域の変遷を示す3つの地図のうち「第1次中東戦争」のみ削除して点図化した。 | 2つの地図の比較にして理解しやすくするため。 |
| | 168 | 写真 | 削除 | 2枚の写真とタイトルを削除した。 | 写真の内容を、指導者が必要に応じて説明するよう配慮する。 |
| | 169 | 写真 | 削除 | 「ASEAN+3首脳会議」の写真とタイトルを削除した。 | 本文の理解に支障がなかったため。 |
| 地図 | | 修正 | 「旧ユーゴスラビアの民族分布と新しい国家」の地図および円グラフを削除し、文章化した。 | 点図では触覚による観察が困難なため。 | |

3 参考資料

(1) 地理的分野

[第1巻]

| 資料 番号 | 表 題 (タイトル) | 原典の 内 容 | 原典の ページ | 備 考 |
|----------|--|------------|------------|---|
| 1 | 表紙 | 写真 | 表紙 | 写真のタイトルを入れた。 |
| 2 | 裏表紙 | 写真 | 裏表紙 | 写真のタイトルを入れた。 |
| 3 | 地域を調べる視点① | 写真 | 口絵表 | 国名だけ入れた。地図は削除し、ヒントとチャレンジも削除した。指のマークの部分は一部文章を削除した。 |
| 4 | 地域を調べる視点② | 写真 | 口絵表 | 写真のタイトルを入れた。地図は削除。指のマークの部分は一部文章を削除した。 |
| 5 | 地域を調べる視点③ | 写真 | 口絵裏 | 写真のタイトルを入れた。指のマークの部分は一部文章を削除した。 |
| 6 | 地域を調べる視点④ | 写真 | 口絵裏 | 写真のタイトル、説明を入れた。地図は削除した。 |
| 7 | どれだけ知っているかな | 写真 | 6~7 | 写真に説明を入れた。 |
| 8 | 時差を計算してみよう | 地図 | 13 | 日本を中心にして点図化した。 |
| 9 | 「イングランド」ってどこの国 | 地図 | 16 | 点図化 |
| 10 | イングランド等の国旗 | 図 | 16 | 点図化 |
| 11 | 世界の国旗を分類してみよう ガーナ, サモア, ロシア連邦, パキスタンの国旗 | 図 | 30 | 点図化 |
| 12 | 大陸移動説による大陸の分裂 | 図 | 31 | 点図化 |
| 13 | 気候による地域差 | 地図 | 37 | 緯線と経線を削除して点図化する。 |
| 14 | 電力会社による区分 | 地図 | 37 | 点図 混合地区については枠外に説明を入れた。 |
| 15 | 生活文化による地域差 | 地図 | 37 | 点図化 |
| 16 | 言葉による地域差 | 地図 | 37 | 点図化 「ある」「その他」については枠外に説明を入れた。 |
| 17 | 古代の行政区分(五畿七道) | 地図 | 40 | 点図化 |
| 18 | 江戸時代(1664年ごろ)の区分 | 地図 | 40 | 旧国名と現在の都道府県名を対応させた表にした。 |
| 19 | 都道府県人口順位の移り変わり | 表 | 41 | 表化 |
| 20 | 旧国名が使われているおもなよび名 | 地図 | 41 | 都道府県名と対応させて表にした。 |
| 21 | サッカー・ワールドカップ大陸別予選 | 地図 | 44 | 点図化し、国名については枠外に大陸別ごとに示した。 |
| 22 | 吹奏楽コンクールの支部大会 | 地図 | 44 | 点図化し、都道府県名については枠外に支部ごとに示した。 |
| 23 | 金沢市の総農家数の移り変わり | グラフ | 56 | 棒グラフと折れ線グラフに分けて点図化した。 |
| 24 | 金沢市の経営耕地面積規模別の農家の割合 | グラフ | 57 | 数表化 |
| 25 | 帯グラフをつくる原票 | 表 | 60 | 文章化 |

| 資料番号 | 表題 (タイトル) | 原典の内容 | 原典のページ | 備考 |
|---------|---------------------|-------|--------------|-------------------------|
| 26 | 実際につくった帯グラフ | グラフ | 60 | 点図化 |
| 27 | 総人口にしめる 65 歳以上の人の割合 | 地図 | 61 | 2 つに分けて点図化する。 |
| 28 | 金沢の気候記録 | グラフ | 63 | 点図化 |
| 29 | 金沢のおもな年中行事 | 表 | 63 | 表化 |
| 30 | 金沢市の観光客の動向 | グラフ | 63 | 点図化 |
| 31 | 農事カレンダー | 絵 | 63 | ふつうの畑とビニールハウスに分けて点図化する。 |
| 巻末 1 | 用語解説 | 一覧 | 216 ~ 219 | 一覧 |
| 巻末 2 | 工業の種類 | 図 | 218 | 数表化 |
| 巻末 3 | 日本の都道府県のあらまし | 表 | 220 ~ 221 | 数表化 |
| 巻末 4 | 日本の都道府県の特徴 | 図 | 222 ~ 225 | 数表化 |
| 巻末 5 | 世界の国々 | 表 | 226 ~ 227 | 数表化 |
| 巻末 6 | おもな国のあらまし | 表 | 228 ~ 219 | 数表化 |
| 巻末 7 | 学習に役立つおもな機関のホームページ | 一覧 | 230 | 一覧 |

〔第 2 巻〕

| 資料番号 | 表題 (タイトル) | 原典の内容 | 原典のページ | 備考 |
|------|----------------|-------|--------|--|
| 1 | 兵庫県のようす | 地図 | 74 | 点図化し、地形と地名を記載した。 |
| 2 | 兵庫県の気温と降水量のグラフ | 雨温図 | 74 | 点図化 |
| 3 | 兵庫県の人口・面積・人口密度 | 数表 | 74 | 数表化 |
| 4 | 兵庫県の農業 | 地図 | 74 | 地図を点図化し円グラフを数表化した。円グラフの内容については上位 3 位を記載した。 |
| 5 | 兵庫県の交通 | 地図 | 75 | 鉄道と高速道路の 2 つに分けて点図化した。 |
| 6 | 兵庫県の工業 | 地図 | 75 | 生産額が 5000 億円以上の市と町を表にし、その場所を地図上に示した。 |
| 7 | 兵庫県の年間観光客数 | 帯グラフ | 75 | 数表化 |
| 8 | 通勤通学先 | 棒グラフ | 75 | 数表化し、表の説明を加えた。 |
| 9 | 北海道の地図 | 地図 | 84 | 点図化し、山脈・山地等の地形とおもな都市の位置を記載した。 |
| 10 | 北海道の気温と降水量 | 雨温図 | 84 | 点図化 |
| 11 | 北海道の土地利用 | 地図 | 84 | 点図化 |
| 12 | 北海道のおもな農産物 | 帯グラフ | 84 | 数表化し、それぞれ上位 3 位までを記載した。 |
| 13 | 農家一戸あたりの経営面積 | 帯グラフ | 84 | 数表化 |

| 資料 番号 | 表 題 (タイトル) | 原典の 内 容 | 原典の ページ | 備 考 |
|----------|---------------------------|------------|------------|---|
| 14 | 北海道の漁獲量とそのうちわけ | 棒グラフ | 85 | 数表化 |
| 15 | 北海道のおもな温泉・観光地 | 地図 | 85 | 点図化し、鉄道とおもな観光地・温泉を記載した。 |
| 16 | 基本的な情報で比較をしてみよう | 棒グラフなど | 94 | 数表化 |
| 17 | 愛知県の交通網 | 地図 | 94 | 鉄道と高速道路の2つに分けて点図化 |
| 18 | 愛知県の工業生産構造の変遷と東京都・大阪府との比較 | 帯グラフ | 95 | 数表化 |
| 19 | 名古屋港の輸出入 | 帯グラフ | 95 | 数表化 |
| 20 | 愛知県のおもな農産物 | 地図 | 95 | 情報を米・野菜・花・果物に |
| 21 | キャベツのおもな出荷先 | 円グラフ | 95 | 数表化 |
| 23 | ブラジルの地図 | 地図 | 108 | 表題をつけ、周辺の国々と地形に分けてそれぞれ点図化した。 |
| 24 | ブラジルの農産物 | 帯グラフ | 108 | 数表化 |
| 25 | ブラジルの鉱工業 | 地図 | 109 | 地下資源と工業都市の2つに分けて点図化した。 |
| 26 | 公用語と人種 | 地図 帯グラフ | 109 | 地図を削除し、公用語と人種の割合を国ごとにまとめた。 点図化 |
| 27 | マレーシアの民族別人口 | 円グラフ | 118 | 数表化 |
| 30 | マレーシアの輸出品の変化 | 折線グラフ | 119 | 2つに分けて点図化した。 |
| 31 | 東南アジアの貿易額にしめる日本の割合 | 帯グラフ | 119 | 国別に数表化した。 |
| 32 | マレーシアから日本への留学生数の変化 | 棒グラフ | 119 | 数表化 |
| 33 | オーストラリアの羊の飼育 | 地図 | 128 | 点図化 |
| 34 | オーストラリアの農業 | 地図 | 128 | 点図化し、年間降水量の線は削除した。 |
| 35 | オーストラリアの鉱工業 | 地図 | 128 | 鉱産資源と工業都市の2つに分けて点図化した。 |
| 36 | オーストラリアの地域別移民の移り変わり | 帯グラフ | 129 | 年別に数表化した。 |
| 37 | アボリジニの居留域 | 地図 | 129 | 点図化 |
| 38 | オーストラリアの貿易品の変化 | 帯グラフ | 129 | 数表化 |
| 39 | オーストラリアの貿易相手国の変化 | 円グラフ | 129 | 数表化 |
| 40 | ガーナ | 地図 | 130 | 農業と工業地域の2つに分けて点図化し、工業地域の地図には鉄道と道路を記載した。 |
| 41 | 「カカオのおもな生産国と輸出量の移り変わり」 | 折線グラフ | 130 | 2つに分けて点図化した。 |
| 42 | ガーナの貿易品の移り変わり | 帯グラフ | 131 | 数表化 |
| 43 | 分割されたアフリカ | 地図 | 131 | 点図化 |
| 44 | アフリカ諸国の独立 | 地図 | 131 | 点図化 |

〔第3巻〕

| 資料番号 | 表題 (タイトル) | 原典の内容 | 原典のページ | 備考 |
|------|---------------------------|------------|--------|------------------------------|
| 1 | 第3編 世界から見た日本のすがた | 各地の写真 | 137 | 写真を削除した。 文章説明 |
| 2 | 山地と平地の割合 | 帯グラフ | 140 | 数表化 |
| 3 | 日本列島周辺の海底地形と断面図 | 図 | 141 | 点図化 |
| 4 | 日本周辺の海流 | 地図 | 141 | 点図化 |
| 5 | 日本と世界の川の長さの比較 | 折れ線 | 142 | 折れ線グラフを点図化した。 |
| 6 | 各気候区にある都市の気温と降水量 温帯の分布 | 地図 雨温図 | 147 | 地図は削除した。 雨温図は点図化した。 |
| 7 | 日本に接近・上陸したおもな台風 | 地図 | 147 | 伊勢湾台風と2002年13号台風のみを点図化した。 |
| 8 | 東北地方の冷害 | 地図 | 150 | 米の作付指数を2段階に分けて点図化した。 |
| 9 | 日本各地のおもな郷土料理の例 | 図 | 157 | 郷土料理の一覧表にまとめた。 |
| 10 | 那覇市を中心にした地図 | 地図 | 162 | 点図化 |
| 11 | 世界の宗教分布 | 地図 | 167 | 世界の宗教を大きく3つに分けて点図化した。 |
| 12 | おもな国の出生率と死亡率 | グラフ | 169 | 数表化 |
| 13 | 大陸別の面積と人口の割合 | 帯グラフ | 169 | 数表化 |
| 14 | おもな国の人口予測 | 折れ線 | 171 | 点図化 |
| 15 | 人口密度から見た都道府県 | 棒グラフ | 173 | 数表化 |
| 16 | 東京圏・大阪圏への人口の移動 | 図 | 173 | 数表化 |
| 17 | 石油と石炭の国別埋蔵量 | 帯グラフ | 180 | 数表化 |
| 18 | 世界のおもな国の発電量のうちわけ | 帯グラフ | 181 | 点図化 |
| 19 | 日本のおもな発電所の分布 | 地図 | 183 | 原子力発電所と風力、地熱発電所の2つに分けて点図化した。 |
| 20 | 森林面積の消失 | 地図 | 185 | 数表化 |
| 21 | 世界の三大漁場と海流（8月） | 地図 | 185 | 世界の三大漁場と海流の2つに分けて点図化した。 |
| 22 | 日本の土地利用の割合 | 円グラフ | 186 | 数表化 |
| 23 | 農作物のおもな生産地 | 図 | 186 | 一覧表にまとめた。 |
| 24 | おもな農作物の自給率の移り変わり | 折れ線 グラフ | 187 | 8つの農作物を2つに分けて点図化した。 |
| 25 | 日本の木材のおもな輸入先 | 図 | 188 | 数表化 |
| 26 | 日本のおもな漁港の水あげ量 | 図 | 189 | 数表化 |
| 27 | 日本の漁業形態別漁獲高と輸入量の移り変わり | 折れ線 グラフ | 189 | 漁業形態を2つに分けて点図化した。 |

〔第4巻〕

| 資料番号 | 表題 (タイトル) | 原典の内容 | 原典のページ | 備考 |
|------|--------------------------|--------------|--------|-----------------------------------|
| 1 | 日本のおもな工業地帯・地域の生産額 | 帯グラフ 円グラフ | 190 | 各工業地帯・地域の生産額を数表化した。 円グラフは削除した。 |
| 2 | 国内の製造事業所（工場など）数の移り変わり | 棒グラフ | 191 | 点図化 |
| 3 | 国内の製造事業所（工場など）数の産業別構成の変化 | 帯グラフ | 191 | 数表化 |

| 資料番号 | 表題 (タイトル) | 原典の内容 | 原典のページ | 備考 |
|------|-------------------------------------|--------|--------|--|
| 4 | 大型店、コンビニエンスストアの店舗の移り変わり | 折れ線グラフ | 192 | 大型店とコンビニエンスストアの2つに分けて点図化した。 |
| 5 | 第三次産業就業者数の県別割合 | 地図 | 192 | 就業者数の割合を2段階に分けて一覧にまとめた。 |
| 6 | 東京23区のインターネット関連の企業 | 地図 | 193 | 企業数を2段階に分けて点図化した。 |
| 7 | 日本の航空貨物の輸送総量の移り変わり | 折れ線グラフ | 196 | 点図化 |
| 8 | おもな国の輸出額1位の品目 | 地図 | 198 | 輸出品目を2つに分けて点図化した。 |
| 9 | おもな料理と材料(例) | 写真 | 198 | 材料を一覧にまとめた。 |
| 10 | 日本のおもな貿易相手国と地域 | 図 | 199 | 数表化 |
| 11 | 日本の輸出入の変化 | 帯グラフ | 199 | 数表化 |
| 12 | 海外でくらす日本人数 | 地図 | 201 | 数表化 |
| 13 | 日本への外国人入国者の国別うちわけ | 円グラフ | 201 | 数表化 |
| 14 | 日本人出国者数・外国人入国者数 | 折れ線グラフ | 201 | 点図化 |
| 15 | 出国した日本人の渡航目的 | 円グラフ | 201 | 数表化 |
| 16 | 来日した外国人の入国目的 | 円グラフ | 201 | 数表化 |
| 17 | 開通前と開通後の所要時間 | 表 | 203 | 文章化 |
| 18 | 北関東地域の工業団地の分布 (1960年代)と(2002年現在) | 地図 | 204 | 1960年代については、工業団地のみ、2002年現在については、高速道路、新幹線と工業団地を点図化した。 |
| 19 | 茨城県、栃木県、群馬県の人口の移り変わり | 棒グラフ | 204 | 点図化 |
| 20 | 茨城県、栃木県、群馬県の産業別人口の移り変わり | 帯グラフ | 205 | 点図化 |
| 21 | 茨城県、栃木県、群馬県の工業生産額とうちわけの移り変わり | 円グラフ | 205 | 数表化 |

(2) 歴史的分野

[第1巻]

| 資料番号 | 表題 (タイトル) | 原典の内容 | 原典のページ | 備考 |
|------|-----------------|-------|--------|-------------|
| 1 | 絵・写真 | 絵・写真 | 表紙 | 文章化 |
| 2 | 国と都道府県の対照表 | 地図 | 裏表紙 | 表で表 |
| 3 | 各地のおもな史跡 | 地図 | 裏表紙 | 表で表 |
| 4 | 世界の中の日本「ジャポジズム」 | 絵・写真 | 裏表紙 | 文章化 |
| 5 | 日本の世界遺産 | 写真・地図 | 綴じ込み | 地図は削除した。 |
| 6 | 2世紀頃のアジア | 地図 | 24 | 点図化 |
| 7 | 前方後円墳の分布 | 分布図 | 25 | 点図化 |
| 8 | 5世紀頃の東アジア | 地図 | 26 | 点図化 |
| 9 | 東西の交通 | 地図 | 38 | 点図化 |
| 10 | 東北地方への進出 | 地図 | 41 | 点図化 |
| 11 | 11世紀の東アジア | 地図 | 43 | 点図化 |
| 12 | モンゴル帝国の拡大 | 地図 | 59 | 点図化 |
| 13 | 室町時代の海上交通と倭寇 | 地図 | 64 | 点図化 |
| 14 | 今帰仁グスクと琉球の勢力 | 写真・地図 | 65 | 文章化し、点図化した。 |

| 資料 番号 | 表 題 (タイトル) | 原典の 内 容 | 原典の ページ | 備 考 |
|----------|--------------------|------------|------------|---|
| 15 | 朱印船の航路と日本人町 | 地図 | 94 | 点図化し、航路は触察しやすいよう単純化した。 |
| 16 | 近世の交通と特産物 | 地図 | 99 | 地図を「近世の交通(五街道)・「近世の交通(おもな海運)・「近世の特産物」の3つに分けて表した。また、おもな海運の航路名は、語句による説明を付記した。 |
| 17 | 百姓一揆・打ちこわしの発生件数 | 棒グラフ | 107 | グラフを「百姓一揆の発生件数」・「打ちこわしの発生件数」の2つに分けて表し、横見開きで並べた。 |
| 18 | 北方探検 | 地図 | 113 | 点図化 |
| 19 | 藩校と寺子屋の広がり | 地図 | 115 | 地図を「おもな藩校」・「寺子屋の広がり」の2つに分けて地図を省略し表化した。 |
| 20 | イギリスとインドの綿布の輸出 | グラフ | 128 | 銭の種類を変えて点図化した。 |
| 21 | 19世紀中ごろのアジア | 地図 | 129 | イギリスの進出を示す矢印と他の矢印の線種を変え、2ページ見開きで点図化した。 |
| 22 | ペリーの航路 | 地図 | 130 | 2ページ見開きで点図化した。 |
| 23 | 岩倉使節団の行路 | 地図 | 149 | 地図を省略し、経由地を表化した。 |
| 24 | 士族の反乱と激化事件 | 地図 | 151 | 2ページ見開きで点図化した。 |
| 25 | 日清戦争 | 地図 | 156 | 点図化 |
| 26 | 列強の中国侵略(20世紀はじめ) | 地図 | 157 | 点図化 |
| 27 | 日露戦争 | 地図 | 159 | 点図化 |
| 28 | 明治時代の終わりごろの朝鮮半島と中国 | 地図 | 161 | 点図化 |
| 29 | 交通の発達 | 地図 | 162 | 点図化 |
| 30 | 綿糸の生産と貿易の変化 | グラフ | 163 | 点図化 |
| 31 | 就学率の変化 | グラフ | 165 | 点図化 |
| 32 | 第一次世界大戦中のヨーロッパ戦線 | 地図 | 171 | 点図化 |
| 33 | 第一次世界大戦後のヨーロッパ | 地図 | 172 | 一覧表化 |
| 34 | 二十一か条の要求に関連する権益 | 地図 | 174 | 点図化 |
| 35 | おもな国の鉱工業生産 | グラフ | 182 | 点図化 |
| 36 | ブロック経済 | 地図 | 183 | 点図化 |
| 37 | 農家の収入の動き | グラフ | 185 | 点図化 |
| 38 | 小作争議と労働争議件数 | グラフ | 185 | 点図化 |
| 39 | 日中戦争の広がり | 地図 | 189 | 点図化 |
| 40 | 第二次世界大戦後の独立国 | 地図 | 207 | 一覧表化 |
| 41 | 日本経済の復興 | グラフ | 209 | 点図化 |
| 42 | 年表 | 表 | 折り返し | 簡略化して点字の表にした。 |
| 43 | 各地の主な史跡 | 地図 | 裏表紙見返し | 一覧表化 |
| 44 | 歴史のなかの植物 | 写真 | グラビア | 写真は削除し、一覧表にした。 |

(3) 公民的分野

| 資料 番号 | 表 題 (タイトル) | 原典の 内 容 | 原典の ページ | 備 考 |
|----------|---------------|------------|--------------|-----|
| 25 | 表紙 | 写真 | 表紙 | 点図化 |
| 26 | 巻頭カラーグラビア | グラビア | 表紙裏 | 点図化 |
| 27 | 巻末カラーグラビア | グラビア | 表紙裏 | 点図化 |
| 28 | 参考資料集 | 資料 | 172 ~ 201 | 点図化 |
| 29 | 用語解説 | 資料 | 202 ~ 205 | 点図化 |